大使館からのお知らせ（感染症に関する注意喚起について）

平成25年9月27日

報道によると、セントビンセントにおいて豚インフルエンザ（swine influenza）が、バルバドスにおいてデング熱（dengue fever）が流行しています。両国に滞在されている方、渡航を予定されている方は十分に注意してください。

セントビンセントでは6例の豚インフルエンザ症例が確認され、48例の疑い症例が確認されています。症状は風邪に似て、のどの痛み、鼻水、発熱等が見られます。感染リスクを軽減するために、手洗いを励行してください。

バルバドスでは、今年はこれまでに500例以上のデング熱症例が確認され、1名の高齢者が死亡しました。症状は、発熱、頭痛、筋肉・関節痛、発疹等です。ウイルスを保有する蚊（ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ等）を媒介として感染しますので、蚊に刺されないように用心してください。

何らかの症状が見られた場合には、速やかに医師による診察を受けることが必要です。

※新たな情報やご質問、ご要望等は大使館領事担当までお知らせください。

在トリニダード・トバゴ日本大使館

領事担当 真田明彦

電話 868-628-5991（内線215）

E-mail : ryouji@po.mofa.go.jp